

## 徳島市加茂名中学校：「学力・学習状況」改善プラン

### 1 学力向上検討委員会構成

職 名	
校 長 教 頭 教務主任	研修主任 学年主任 学力向上推進員

### 2 現状・課題

学 力	<p>(国語) 文章の展開に即して内容を読み取ったり、自分の意見を伝えるために、適切な材料を選んだり、自分とは異なる立場の意見を取り入れて、説得力のある文章を書いたりすることが苦手である。</p> <p>(数学) 基本的な計算問題については、比較的高い正答率が見られるが、事柄の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明したり、筋道を立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明したりする問題においては、正答率が低くなる傾向が見られる。</p> <p style="text-align: center;">一般的に教科を問わず、語彙不足等によるコミュニケーション能力に問題が見られる。</p>
学 習 状 況	<p>「家庭での勉強時間」では、「1時間以内実施した」に若干の増加傾向が見られるが、全般的には減少傾向が見られる。「テレビを見たりゲームをする時間」等、日々の時間の利用を自分の意志で決め、実行することができない生徒が依然として多く見られる。結果として、学校での生活がルーズになり、学習に対する集中力の欠如・忘れ物・宿題等の未提出へとつながる傾向が見られる。</p>

### 3 目標等

#### (1) 学力について

重点目標：コミュニケーション能力を高める。(自分の考えを言葉や文章で表現できる力を身につけさせる。)				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
じっくりと話を聞くことができる。	4	朝の活動の時間を利用した『読み聞かせ』活動を継続するとともに、集会等で話を聞く機会を増やす。	75%達成できた 4・③・2・1	全校集会・学年集会・講演会等話を聞く機会を増やす。
場面に応じた言葉の使い方ができる。	4	普段の生活の中で、対教師、対友人等場面に応じた表現ができるよう言葉への関心を高め、指導する。	65%達成できた 4・③・2・1	日常会話を中心に引き続き場面に対応した指導を行う。
読書活動を通して読み取る力を高める。	3	読書を朝の活動の中に位置づけ、自分の考えをわかりやすく文章で書いたり、話したりする場を多く取り入れる。	65%達成できた 4・③・2・1	読書活動を朝の活動の中に位置づけ、今後とも計画的に取り組む。

#### (2) 学習状況について

重点目標：5分前行動の意識の高揚を図る。				
具体的目標	数値目標	具体的方策	評価	改善点
5分前行動の徹底と授業評価の実践	4	毎時間の授業について、定期的に生徒会立案による授業評価「着席状況」「あいさつ」「私語」「忘れ物」等の項目について授業担当者が評価(4段階)し、実践へとつなげる。	70%達成できた 4・③・2・1	「チャイム着席・授業準備・授業集中」の共通理解のもと、徹底した指導に取り組む。

評価欄の上段には、各具体的目標における数値目標の達成状況について記入する。下段には、達成状況を「4 十分できた 3 概ねできた 2 あまりできなかった 1 できなかった」で判断し、該当番号に を付ける。